

看護師職能委員会

委員長 小倉 佳子

1 委員会開催 6回

2 活動内容

(1) 研修会・講演会の開催

ア 令和2年度看護師職能集会講演会

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

イ 領域Ⅰ研修会

テーマ「看護職の働き方改革とタスクシフト・タスクシェアリング」

講師 獨協医科大学日光医療センター 看護師長 戸崎 幸子氏

芳賀赤十字病院 看護師長 前澤 信子氏

足利赤十字病院 看護師長 岩佐 愛子氏

内容 看護補助者、薬剤師、理学療法士とのタスクシェア、タスクシフトを、良好なコミュニケーションを図りながら実施している状況報告があり、業務の見直し、タスクシェア、タスクシフト検討の動機づけとなった。

日時 令和2年9月28日(月)

会場 栃木県看護協会研修センター

参加人数 13名

ウ 領域Ⅰ・Ⅱ研修会

テーマ「地域包括ケアシステムにおける看護師の役割」

講師 保健福祉部医療政策課 課長補佐 行政保健師 家入 香代氏

ソーシャルワーク鹿沼 所長 ケアマネージャー 川田 雅一氏

訪問看護ステーション星が丘 訪問看護師 黒崎 雅子氏

内容 地域包括ケアについての説明と地域における現状について講義を受け、グループワークにより一人一人が生活者としての視点をもって患者に対応していくことの重要性を認識することにつながった。

日時 令和2年10月26日(月)

会場 栃木県看護協会研修センター

参加人数 23名

エ 領域Ⅱ研修会

テーマ「在宅領域に勤務する看護管理者の現状と課題を考える」

講師 とちぎ訪問看護ステーションうつのみや 所長 濱本 明代氏

老人保健施設とちぎの郷 看護部長 鈴木 由香氏

特別養護老人ホーム桜の華 施設長 佐藤 里美氏

内容 各施設での管理や管理者の考えを聴講する機会となり、管理者を支援する視点や経営についての視点について学ぶ機会となった。

日時 令和2年11月26日(木)

会場 栃木県看護協会研修センター

参加人数 7名

3 まとめ(次年度の課題)

日本看護協会職能委員会の課題に沿って、地域包括ケアシステムや看護師の働き方改革を含めたタ

スクシェア、タスクシフトについての研修、在宅領域における問題や管理についての研修を開催し、グループワークにおいて施設間の交流を図り自施設の課題検討につないでいただいた。

今年度は新型コロナウイルス感染症により参加施設が少なく、在宅領域においては7名にとどまったが、今後の日本の人口動態等において、地域包括ケアシステムは医療、介護の分野における優先的課題であり、今後も研修テーマとして継続、強化していきたい。

また、在宅領域においても、管理者が集い問題解決や質向上のための場として、研修会を活用していただけるよう企画していきたい。